

静岡県産業成長戦略 2023 骨子 (案)

基本理念

【経産ビジョン R4~R7】

東京時代から静岡時代へ

～新しい生産と消費の循環でSDGsを達成～

コロナ禍に対応した特例措置・支援の終了を見据え、**新常態**において成長を目指す出口戦略を本格化

R5の重点テーマ

ポストコロナの足取りを確かなものに
～世界から選ばれる「静岡時代」の実現へ～

I 直面する課題と対応方針

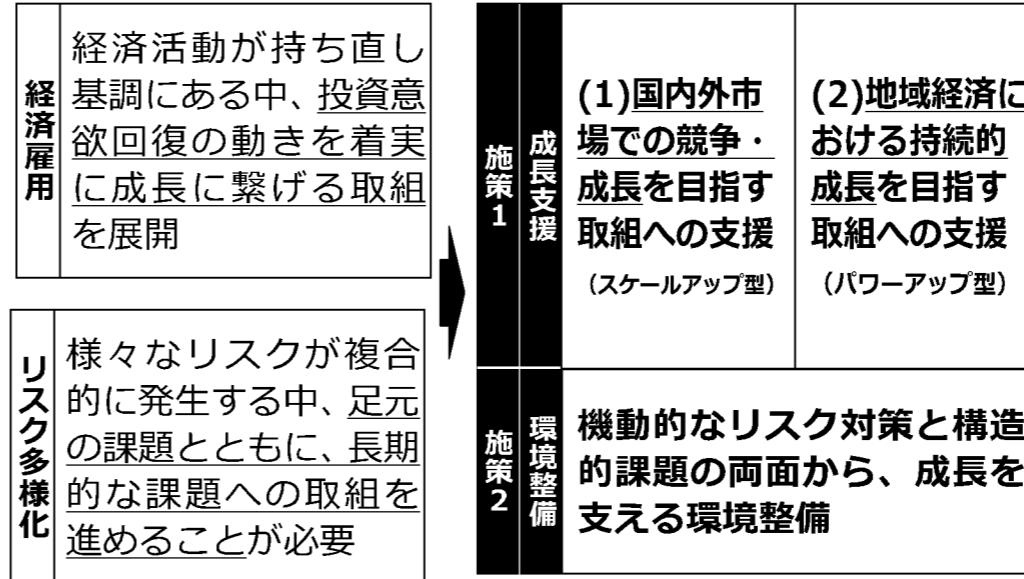
【本県を取り巻く課題】

- 人口減少・少子高齢化の進行 市場収縮・事業承継、人手不足
- デジタル化の進展 産業構造転換、人材確保・育成
- 脱炭素社会の構築 カーボンニュートラル、循環経済
- コロナ禍による社会変容 事業再構築・再生、地方回帰
- グローバル化の進展 食料安全保障、サプライチェーン多元化
- 事業リスクの多様化 災害激甚化、国際情勢流動化

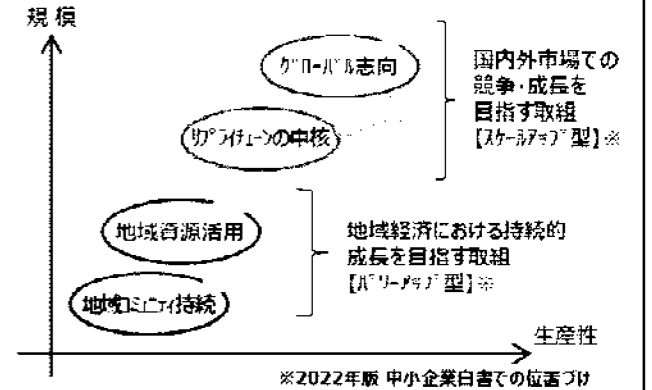
【直近の社会・経済動向】

- 新型コロナウイルス・対策
 - ・ 8月には、過去最大の感染再拡大。社会経済活動との両立が急務
 - ・ ゼロゼロ融資等の支援により、倒産・廃業は抑制されてきたが、R5年中盤から返済本格化。返済負担軽減と本業回復が喫緊の課題
 - ・ 国は、雇用調整助成金の特例措置を段階的に縮小の方針。中小事業者への影響が懸念される一方、成長分野への労働移動遅れのジレンマも
- 経済・雇用情勢
 - ・ 本県経済は基調としては持ち直しているが、物価高騰（原油、食料品、肥料・飼料等）の影響が幅広い業種・業態に波及・拡大
 - ・ 雇用環境は改善の動きを継続。有効求人倍率は1倍台を持続。飲食・サービス業等、幅広い業種で求人数回復
 - ・ 民間企業の設備投資意欲は高いが、R4年度はコロナ禍等の影響から実行段階で様子見も。R5年度計画は、需要持ち越しにより高水準
- 多様化する事業リスク
 - ・ カーボンニュートラルへの取組が求められる中、国際情勢を背景としたエネルギーや食料需給の不安定化が長期にわたる懸念
 - ・ 穀物の不作、海外情勢の不安定化、急激な円安等、複合的な要因による物価上昇。一次産業、中小事業者には価格転嫁が大きな課題
 - ・ 下請け企業経由のサイバー攻撃、大規模な通信障害等、“つながる”リスクが顕在化

II 戦略的な施策展開



施策1イメージ



【施策の体系】

成長の方向性に合わせた支援 【施策1】	(1)国内外市場での競争・成長を目指す取組への支援 (スケールアップ型)	(2)地域経済における持続的成長を目指す取組への支援 (パワーアップ型)
	①本県経済を牽引する産業・分野への重点投資 ②デジタルを中心とした先端的な知識と技術を持つ人材の確保・育成 ③DXによる付加価値創造と継続的な設備投資の促進	①域内での消費拡大と域外需要の取込み ②ブランド力強化による観光・交流の回復 ③多様な消費・生活様式の実現と地域活性化の推進
成長を支える環境整備 【施策2】	①エネルギーの多様化と脱炭素化に向けた着実な取組 ②産業人材の確保・育成 ③産業の強靱化	

【議論の進め方】

- 施策1の議論
 - ・ 産業成長戦略会議席上で議論
 - 施策2の議論
 - ・ 産業成長戦略会議とは別に検討し、戦略に反映
- (1) エネルギーの多様化と脱炭素化に向けた着実な取組
- | | |
|------|--|
| 会議名 | ふじのくに未来のエネルギー推進会議 (1月下旬) |
| メンバー | 学識経験者 (県内大学等)、事業者等 ((社団) 静岡県環資協、静岡ガス(株)、中部電力(株)) |
- (2) 産業人材の確保・育成
- | | |
|------|--|
| 会議名 | 産業人材確保・育成対策県民会議 (12月頃) |
| メンバー | 産業界 ((一社) 経営者協会、(一社) 商工会議所連合会等)、労働界 (労組静岡県連合会等)、教育界、行政 |
- (3) 産業の強靱化
- 産業支援機関や金融機関、有識者等へのヒアリング
 - 県内中小企業に対する実態調査 (アンケート)
- | | |
|------|--|
| 会議名 | 中小企業・小規模企業振興会議 (10月21日) |
| メンバー | 中小企業等 (商工団体推薦)、支援機関 (商工会連合会、(一社) 商工会議所連合会、中小企業団体中央会等)、行政 |

Ⅲ 主な取組

【施策1】 成長の方向性に合わせた支援

① 本県経済を牽引する産業・分野への重点投資

- ◎ 本県経済を強力に牽引するリーディング産業の育成
 - ・プロジェクト間の連携による新たな価値の創出
 - ・先端産業創出プロジェクト等の深化
(ファルマ、FHCaOI、フoton、次世代自動車、CNF、AOI、ChaOI、FAOI、MaOI)
 - ・データ活用で新たな観光の価値を生む DX の推進
- ◎ GX (グリーン・トランスフォーメーション) への重点投資
 - ・エネルギー関連産業の創出・拡大
 - ・環境ビジネスの参入拡大



次世代自動車

② デジタルを中心とした先端的な知識と技術を持つ人材の確保・育成

- ◎ 階層に応じたデジタル人材の確保・育成
 - ・イノベーション拠点をハブとした ICT 人材の交流・集積
 - ・デジタル化に対応できる技術の習得支援



DX 推進講座

③ DX による付加価値創造と継続的な設備投資の促進

- ◎ 新たな課題解決のための研究環境整備
 - ・デジタル化・脱炭素化に向けた分野横断型研究促進
- ◎ スタートアップ支援の体制拡充
 - ・創業支援機関・施設のネットワーク化、学生・若者向け起業家育成
- ◎ 企業誘致・定着の促進
 - ・地域中核企業の集積、国内回帰への対応、事業用地の供給促進



富士大淵工業団地

【施策2】 成長を支える環境整備

① エネルギーの多様化と脱炭素化に向けた着実な取組

- ◎ エネルギーの多様化の推進 (再生可能エネルギーの導入拡大、脱炭素エネルギー導入)
- ◎ 企業の脱炭素化支援 (企業脱炭素化支援センターや次世代自動車センター浜松による支援)
- ◎ 産業分野におけるカーボンプレジットの活用 (農林水商工業におけるJ-クレジット、ブルーカーボンの申請支援)

① 域内での消費拡大と域外需要の取り込み

- ◎ 市場と生産が結びついた「ふじのくにマーケティング戦略」の推進
 - ・首都圏や「バイ・山の洲」を中心とした販路開拓と流通体制の構築
 - ・需要に応じた生産・商品開発
 - ・マーケットインによる「輸出産地」の形成



静岡伊勢丹でのさくらんぼ直売

② ブランド力強化による観光・交流の回復

- ◎ しずおか感動体験ツーリズムの確立
 - ・ガストロノミーツーリズム推進・体制充実
 - ・歴史・文化資源の活用
 - ・体験型インバウンド商品開発、受入環境整備



久能山東照宮

③ 多様な消費・生活様式の実現と地域活性化の推進

- ◎ 地域の魅力を活かしたブランド強化と新たなモデル構築
 - ・県産食材・食文化のブランド力強化 (ガストロノミーツーリズム)
 - ・花緑と先端技術の融合によるデジタル田園都市の実践
- ◎ 温泉を核としたヘルスケアサービスの創出 (ICOI プロジェクト)
- ◎ 地域を支える中小企業の付加価値向上
 - ・中小企業の経営力向上、県内企業のデザイン活用推進
 - ・地場産業の新結合、市町と連携した商店街の空き店舗活用支援



県産食材の魅力発信
仕事人レストランフェア

② 産業人材の確保・育成

- ◎ 新しい働き方の実践、就業者の確保・育成 (テレワークの普及促進、UI ターン就職支援)
- ◎ 社会増につながる就業拡大 (ICT 企業誘致、マザー工場・拠点化工場の立地促進)

③ 産業の強靱化

- ◎ 持続可能な地域経済の実現 (コロナ出口戦略を見据えた中小企業の事業再構築・再生支援)